

研究計画書

ゼミ名	市野ゼミ II	チーム名	LOVE2 班
タイトル	LOVE STYLE		
テーマ群	g)その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>現在、少子高齢化が進んでいるということを様々な場面で耳にする。そして、少子高齢化が進行することにより、多くの弊害が研究生じている。例えば、年金や介護の担い手の負担の増加、労働力人口の減少などである。そこで、今回私たちは結婚制度を子供が産みやすい制度に変えることで、その問題を改善しようと考え調べることにした。結婚率を上昇させるにはまず、結婚率の減少を軽減させる改善案を見つける必要がある。そこで、昔と今の結婚事情を見比べればわかると考えた。結婚の 6 割はお見合いでできていたが、現在は比較的、お見合いが盛んではなく、もし、お見合いが昔のようにされていたら結婚率が 9 割という説もある。このように、昔と比べることで原因が発見できると考えた。そこで発見できた原因を改善することにより結婚率減少を抑え、また、上昇させることができるのではないかと考えた。調べ方としては、結婚率の低下の主な理由として 3 つに分ける。1 つ目は女性の社会進出、独身生活にあるメリット、2 つ目は自由恋愛、3 つ目は収入の格差である。1 つ目は過去のデータと今のデータを比較することで、傾向が確認できる。そこから考えられる要因を見つける。独身の方にアンケートを取り、私たちの仮定が正しいのかを明確にする。2 つ目は、自由恋愛の特徴を調べ、現在の恋愛の形態を見つける必要がある。3 つ目は収入のデータを見つけて、その収入の格差が結婚率に及ぼす可能性を仮定に基づいて探し、新たな要因を発見する。以上の方法でこのテーマを研究する。出したい結論は、結婚率を上げるためには結婚制度の見直しをして、若者が結婚しやすい環境を作っていくことが大切だということ。これによって、日本の少子高齢化が少しずつ解消されていき労働人口が維持されていくことにより年金や介護などの国の深刻な問題を解決することができるのではないかと考える。</p>		